

2023年10月6日

## 「デジタルサイネージ広告」の実証実験への参加

～株式会社野村総合研究所との共同事業～

株式会社千葉興業銀行（頭取 梅田 仁司）は、株式会社野村総合研究所との共同事業として、当行店舗へのデジタルサイネージの設置および広告配信の実証実験を行います。

本取組みでは、店舗の内側から屋外に向けてデジタルサイネージを設置いたします。従来型の来店客に向けた店舗内サイネージとは異なり、配信時間の制限や来店客数の影響が少なく、より多くの方への情報発信を行うことが可能となります。本取組みによってさまざまな情報発信を行うことでステークホルダーの業績拡大や企業認知拡大を支援してまいります。また、当行店舗で掲載しているポスターを本サイネージで掲載することも試行いたします。

当行は、今後ともお客さまの利便性向上によりお客さまのさまざまなニーズにお応えできるよう努めてまいります。

### 記

#### 1. 実施概要

|               |  |
|---------------|--|
| 実施店舗          | 千葉県西部・北西部の店舗にて実施予定   |
| 掲載価格          | 無償（実証実験期間中）  |
| 開始予定時期        | 2024年1月ごろ  |
| 広告主           | 実施店舗を中心に営業部店より広告主の募集を実施予定  |
| 配信設備          | 65インチのディスプレイ（設置型）、STB、CMS、配信環境については野村総合研究所様に提供していただきます。                |
| 実営業における事業性の確認 | パンフレットやチラシを用い、実施店舗周辺を中心にステークホルダーへ営業活動を行います。実証実験完了後は営業戦略や媒体の戦略に活用いたします。 |
| 広告効果の検証       | 本サイネージにおけるメディア価値や営業リソースなど幅広い観点で実証実験を行い、銀行における広告業の展開に活用いたします。           |

#### <ディスプレイ設置イメージ>



## 2. 取組みの目的

当行は、本サイネージにおける広告においては当行が保有する他のコンテンツとも連携を行い、多くの人にステークホルダーの商品・魅力を知っていただくことをめざします。

< 3大目的 >

- ・各媒体を通じてステークホルダーの情報を発信し、認知度の向上に貢献する
- ・ステークホルダーの商品の魅力を発信し、消費者の購買意欲を高めることに貢献する
- ・ステークホルダーの事業発展に役立つ有益な販促ツールとして機能する

## 3. 今後の展開について<実証実験終了後>

本サイネージの実証実験において蓄積された知見を活用し、広告主となるステークホルダーのみならず有償でサイネージ広告の提供を行う予定です。また、当行が保有する各種媒体への広告枠の設置を拡大することで広告事業を展開することを検討しております。

以上